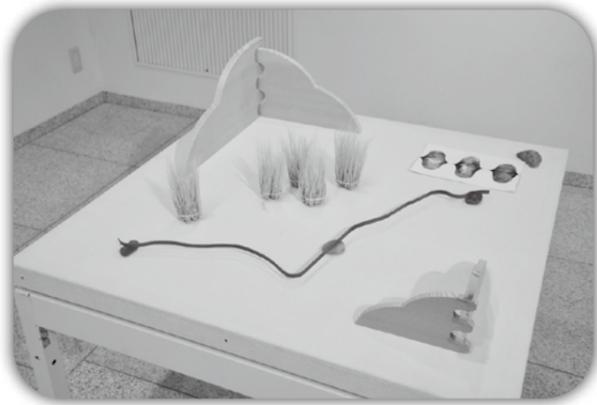


▼③ヤマノウエカラミタ



▼④スギ (ダイチカラミタ)



白井仁美さん

2010年木工専攻修了。
主に木を使った作品を制作している。



アーティスト イン レジデンス
安曇野AIR

若手芸術家が巡る 安曇野滞在記

本年7月から3ヶ月間、東京藝術大学出身の若手芸術家が市内に滞在し、自然や地域との交流からインスピレーションを得て制作活動を行ってきました。10月に合同で展示会を開催した3人に、作品への思いや安曇野で感じたことを語ってもらいました。

Topic 安曇野を芸術の里に 芸術家の活動拠点を整備



市では芸術家や美術系学生が市内に滞在し、市民と交流しながら創作活動を行う仕掛けづくりに取り組んでいます。今後、芸術家の活動拠点として、市有形文化財・鐘の鳴る丘集会所の活用を検討しています。

白井 穂高商業高校の美術部と交流しましたが、素直な生徒たち

地元の人と 交流した感想は？

鈴木 粘土に羊のふんを押し付けて窯で焼くと、ふんは融解し、痕跡が残ります。それをつなげた作品を作りました。(写真⑤) 普段はヤギのふんを使って作品制作をしているのですが、「動物の種類によって色が変わるのではなく、食べたものによって色が変わる」ということに気がつき、動物の体内を通して大地と対話していると実感しました。滞在中に撮影した写真も、中学生が作った器と並べて展示しました。(写真⑥) 多い時には1日50km自転車で走りました、本当に景色が良く、800枚を超える写真を撮影しました。安曇野での経験をアーカイブにしたいと思い、これらの写真の中から厳選しました。

市では芸術家や美術系学生が市内に滞在し、市民と交流しながら創作活動を行う仕掛けづくりに取り組んでいます。今後、芸術家の活動拠点として、市有形文化財・鐘の鳴る丘集会所の活用を検討しています。

どのような作品が できましたか？

及川 モザイク状のガラスを通して植物を見る立体作品を作りました。(写真①) 安曇野の夏のみずみずしい植物から着想しています。これまで作った中で一番大きく、今回参加しなければできなかった作品です。また、半透明のビニールの後ろに植物を置き、2時間おきにスモークが発生する作品も作りました。(写真②) 朝霧に包まれる安曇野の草木をイメージしています。以前から植物をたくさん使った作品を作りたいと思っていたので、この滞在がその思いを実現させてくれました。

白井 私は蝶ヶ岳から見た、扇状地と水路が織りなす地形や植物をテーマに、滞在中にお会いした皆さんから頂いた大麦や木、石で表現しました。(写真③) 登山経験がなく、正直きつかったのですが、山からの眺望が忘れられません。この景色を自分なりに表現し、皆さんと見え方の違いを楽しみたいと思いながら作りました。もう一つ紹介したいのが年輪の作品です。(写真④) 輪切りにした木の断面をバーナーで焼いてこすると、冬に育った固い部分が浮き出ます。木が生きてきた軌跡がはっきり形になり、生命力を映し出す作品になりました。

印象に残っていることは？

及川 山は遠くにあるイメージだったので、北アルプスが平地から急にそびえたように見えて圧倒されました。また、田んぼや水路など何気ない水の透明度が高く、感動しました。人の優しさも印象に残っています。訪れた先々でたくさん話しかけてもらい、特に安曇野に住む生物や生態系の話を詳しく聞けてうれしかったです。

鈴木 人が優しいですね。私は通りすがりのおじいちゃんおばあちゃんに話しかけられ、滞在しながら作品制作をしていることを伝えると、「泊まる場所ある？よかったらうちを使ってね」と言われました(笑)。郷土資料館では縄文土器に残された指のへこみに自分の指を重ね、時代を超えたつながりに感動しました。サルの大群に遭遇した時は、自然への畏れや尊さを肌で感じました。人、時代、自然といったさまざまなつながりを感じる滞在になりました。

白井 山にしみ込んだ水が大地から湧き出ていることなど、自然の動きが見えることが印象的でした。東京では虹が出て遠くにあることしかわからないので、虹がどのくらいの距離にあるか見えることも驚きました。

▼⑤羊の夢 Dream the sheep had



鈴木希果さん

2023年GAP専攻卒業。「プロセスとしての陶芸」をテーマに作品制作やアートプロジェクトを企画している。

▼⑥鈴木希果安曇野AIR 滞在記録



▼② What layers do you have ?



▼① MANUAL FOCUS



及川春菜さん

2020年ガラス専攻修了。
主にガラスを用いた作品を制作している。